

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104



冬の動物園は4月7日(火)まで
10:30~15:30 (入園は15:00まで)

ASAHIYAMA ZOO

おしえて! どうぶつえんのお仕事

ほつきよくぐま館ともうじゅう館の間にある小さなログハウス風の建物。ここサポートセンターでは、3人の看護師さんが働いています。

動物園ではいろいろな人が働いています。動物のお世話をする飼育展示係や、動物たちの健康を守っている獣医さん、テレビや雑誌の取材対応をする人や施設の維持や管理をする人などさまざまです。

園内にあるサポートセンターでは、3人の看護師さんが働いています。ここ数年、旭山動物園の入園者数は300万人を超えています。いろいろな要望がある中で、動物園内で具合が悪くなったことや、ケガをした人たちのために、2年前から看護師さんが働くこととなりました。

動物園の看護師さんは、病院で働く看護師さんたちとちよつと様子が違います。園内で倒れて動けなくなつてしまった。ケガをしてしまった。そんな人のところへ、救急セットをもっていち早く駆けつけます。救急車を呼ぶときは、それまでの応急処置なども行っています。やさしく手当てをしてくれるだけでなく、とても頼もしい看護師さんたちです。

緊急時にはこれをもって出動



もしもの時のために、AED(自動体外式除細動器)も設置しています



安心の要 サポートセンター



体調のすぐれないお客さんのため、用意する薬や環境を少しずつそろえていきました。

ここ数年、看護師さんたちは「予防」に力をいれています。この季節、雪が降り路面が凍ると、転んでケガをする人が増えてきます。平成18年には、80件もの転倒事故が起きていました。その多くは関東や関西など雪が少ない地方から来られた人たちでした。そのような地域ではすべり止めのある靴や装備は売っていません。そのことが転倒事故の一つの要因となつています。そこで靴にどのような工夫をしたら良いかいろいろ試してみました。すると、荒縄や古タイツなどを靴に巻き付けるとすべり止めに効果があることがわかりました。

動物園を楽しむために

たっぷりの睡眠をとって来てください
ゆったりとしたスケジュールで来てください
あたたかい服装・すべりにくいクツ
持病をもっている人は体調管理をしっかりと



看護師さんたちが予防に取り組みはじめた結果、1年前と2年前を比べると、ケガをする人が約2割も減つています。ぜひ、家にある古タイツなどを使って園内を歩き、その効果を感じてみてください。せつかく来た動物園ケガなく楽しく過ごして欲しいものです。また、疲れや睡眠不足は事故の原因になりやすいといえます。みなさん、十分に体調を整えて来てくださいね。

	06年度	07年度
転倒でケガ	80	63
救急車	9	6



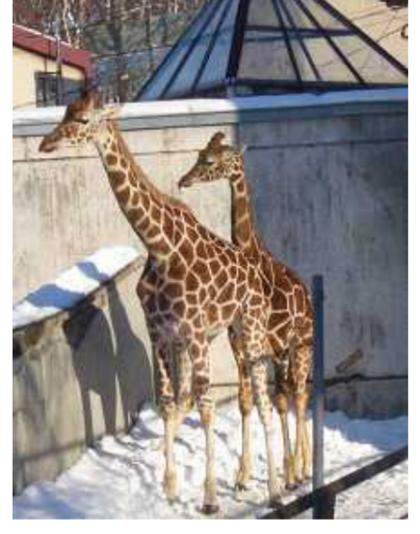
滑り止め効果ランキング
1 荒縄
2 古タイツ
3 古ストッキング
4 古ソックス
5 金具の滑り止め

動物たちも...要注意

冬の間、路面に気をつけなければならぬのは、私たちがだけではありません。この地面に一番気を使っているのは、ある動物の担当者かもしれません。それは「キリン」です。アミメキリンの「ゲンキ」と「マリモ」はかけっこしたり、雪をたべたりと、元気いっぱいにごさしています。なのに、どうして担当者は神経質になつていられるのでしょうか? それは、キリンのよゆうな大きな動物が滑つてころんでケガをしてしまうのは、命にかかわるほど大変な問題だからです。1才半のゲンキはまだ、体がしなやかで関節がやわらかいため、ケガはしにくいですが、やっぱり気が抜けません。

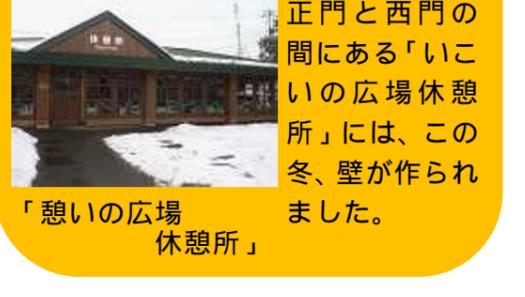
最近、マリモは発情が始まり、ゲンキにアピールするような様子を見せています。ゲンキが大人になるまではあと2年ほどかかりますが、2頭の成長がとも楽しみます。今まで以上に、キリンのさまざまな動きが見られるようになってうれしい反面、担当者にはちよつとピリピリ。放飼場に念入りに砂をまいたり、発情時期を見逃さないために、いつも以上に観察は念入りです。雪がとける頃、2頭のどんな関係が見られるでしょうか。担当者のほつと安心できる春はまだまだ先になりそうです。

先になりそうです。



冬もあったか休憩所

この冬は、ゆっくり休めるあたたかい休憩所が増えました。あざらし館裏にある「やすらぎの森」休憩所ではフォトコンテストの展示会を開催中です。



正門と西門の間にある「憩いの広場休憩所」には、この冬、壁が作られました。